

津久見市議会だより

第 87 号

令和6年12月 定例会
令和7年2月1日 発行

編集発行
大分県津久見市議会 ☎0972-82-9518
題字は津久見高校書道部です



◎ 12月定例会	P 2
◎ 市政を問う(一般質問)	P 4
◎ 行政視察報告	P 8
◎ つくみの宝	P12

おおいた冬の事故ゼロ運動
(津久見川上みどりの少年団)

12月定例会

会期：12/2~12/20
(19日間)

総務常任委員会

12月12日、本委員会に付託されました議案4件について審査を行いました。

●議案第96号 証明書等の交付等に係る事務の委託の廃止に関する協議について

説 本件は、住民票等の各種証明書の交付等に関する事務について、県内14市3町での相互委託に関する規約を廃止するもので、全会一致で可決しました。

●議案第97号 損害賠償の和解について

説 本件は、市職員が令和6年10月20日、市営グラウンド内で公用車を運転中、個人所有の車両を損傷させたもので、相手方と損害の賠償に関し和解するにつき、議会の議決を求めるもので、全会一致で可決しました。

●議案第101号 津久見市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に係る条例の一部改正について

説 本件は、人事院勧告及び大分県人事委員会勧告等を勘案し、市議会議員の期末手当の支給率の改正を行うもので、全会一致で可決しました。

●議案第102号 津久見市職員の給与に関する条例等の一部改正について

説 本件は、人事院勧告及び大分県人事委員会勧告等を勘案し、職員の給料表の改定及び期末・勤勉手当の支給率の改正、特別職及び会計年度任用職員の期末手当の支給率の改正等を行うもので、全会一致で可決しました。

社会文教建設常任委員会

12月12日、本委員会に付託されました議案2件及び意見書2件について審査を行いました。

●議案第87号 津久見市心身障害者タクシー料金の助成に関する条例の一部改正につ

いて

説 本件は、障がいの種別やライフスタイルが異なることを考慮し、助成対象者が今まで以上に柔軟かつ公平に助成を受けられるよう使用制限の緩和について所要の改正を行うもので、全会一致で可決しました。

●議案第98号 指定管理者の指定について(津久見市スポーツ施設)

説 本件は、「津久見市スポーツ施設」の指定管理者を公募選定した結果、「特定非営利活動法人エンジョイつくみ」を、令和7年4月1日から5年間引き続き指定管理者として指定するもので、全会一致で可決しました。

●意見第4号 子どもたちのゆたかな学びの保障のための教職員の長時間労働是正を求める意見書(案)

説 本件は、学校の働き方改革をはかる観点から、具体的な業務削減、教員の業務負担軽減につながる教職員定数改善などを策定・実施することなどを要請するもので、委員より、「教育現場が大変なのは理解しているが国において審議中の案件である」「しっかりと津久見に必要なものになっていない」など反対討論があり、挙手による採決の結果、挙手少数で否決されました。

●意見第5号 小中学校の学校給食無償化を求める意見書(案)

説 本件は、市町村での学校給食無償化は、人件費や消費税、材料費及び燃料費の高騰などにより、市町村財政を圧迫する可能性から、国の責任において財源確保を行い、すべての市町村が学校給食の無償化を実施できるよう要望するもので、全会一致で可決しました。

予算常任委員会

12月13日、本委員会に付託されました議案15件について審査を行いました。

●議案第88号 令和6年度一般会計予算の補正について

説 歳入歳出それぞれ5億7,057万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ129億346万5

千円とするもので、支出の主な内容としては、早期退職などに伴う退職手当、河川改修工事、農業用施設災害復旧工事などで、全会一致で可決しました。

●議案第 89 号 令和 6 年度国民健康保険事業特別会計予算の補正について

●議案第 90 号 令和 6 年度津久見市後期高齢者医療特別会計予算の補正について

●議案第 91 号 令和 6 年度介護保険事業特別会計予算の補正について

●議案第 92 号 令和 6 年度保戸島航路事業特別会計予算の補正について

●議案第 93 号 令和 6 年度津久見市水道事業会計予算の補正について

●議案第 94 号 令和 6 年度津久見市下水道事業会計予算の補正について

●議案第 95 号 令和 6 年度津久見市簡易水道事業会計予算の補正について

説 上記 7 件の各特別会計予算の補正は、審査の結果、全会一致で可決しました。

●議案第 103 号 令和 6 年度一般会計予算の補正について

●議案第 104 号 令和 6 年度国民健康保険事業特別会計予算の補正について

●議案第 105 号 令和 6 年度介護保険事業特別会計予算の補正について

●議案第 106 号 令和 6 年度保戸島航路事業特別会計予算の補正について

●議案第 107 号 令和 6 年度津久見市水道事業会計予算の補正について

●議案第 108 号 令和 6 年度津久見市下水

道事業会計予算の補正について

●議案第 109 号 令和 6 年度津久見市簡易水道事業会計予算の補正について

説 上記 7 件の各特別会計予算の補正は、人事院勧告及び大分県人事委員会勧告等を勘案した条例改正に伴う人件費の増額が主で、全会一致で可決しました。

その他の議案等

●議案第 99 号 津久見市教育委員会委員の任命について

●議案第 100 号 津久見市教育委員会委員の任命について

説 津久見市教育委員会委員のうち、佐藤裕子氏・田島岳自氏の 2 名が 12 月中に任期満了を迎えるため、再任について議会の同意を求めるもので、全会一致で同意しました。

●議案第 110 号 津久見市副市長の選任について

説 本件は、石井修三氏を副市長に選任するため、議会の同意を求めるもので、全会一致で同意しました。

●議案第 111 号 津久見市議会委員会条例の一部改正について

●議案第 112 号 津久見市議会会議規則の一部改正について

説 上記 2 件は、全国市議会議長会の標準委員会条例及び標準会議規則の一部改正に準じて所要の改正を行い、議会のオンライン化等に対応するもので、全会一致で可決しました。

議案の賛否表

賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

○：賛成 ●：反対 棄：棄権 欠：欠席

議案名	植田 志ほ	野田 和廣	内田 隆生	島田 勝	倉原 英樹	丸木 一哉	菊池 正一	井戸川 幸弘	黒木 章三	宮本 和壽	高野 幹也	知念 豊秀
12月定例会												
意見第 4 号 子どもたちのゆたかな学びの保障のための 教職員の長時間労働是正を求める意見書（案）	●	○	●	●	●	○	●	●	議長	●	●	○

市政を問う 一般質問

12月10日(火)・11日(水)

7 議員が登壇 傍聴者延べ 20 名

顔写真横の
二次元コードから
各議員の一般質問
の動画をご覧いた
だけます。



津久見市議会録画映像インターネット配信 ▶ <http://www.kensakusystem.jp/tsukumi-vod/index.html>

市道岩屋線 ～工事中は利用者への配慮を十分に

きくち しょういち
菊池 正一



問 工事の進捗状況と総事業費の見通しは

答 岩屋三差路周辺において、車両交通の安全性の向上や重大事故の抑制につながるとして、環状交差点（ラウンドアバウト）などの工事を今年9月に発注。また、JR 踏切から津久見駅方面の工事は、電柱移転補償が完了次第発注する予定。JR 踏切拡幅工事は、令和7年度から8年度にかけて実施する予定です。総事業費は、家屋の移転補償費や工事費などの道路改良事業が約7億9,200万円。新港橋架け替えに伴う負担金が約5億9,700万円。岩屋踏切拡幅の費用が約2億9,300万円。総額は約16億8,200万円で、工事経費や昨今の物価上昇などにより、約1億300万円の増額となっています。財源は、国の交通安全対策補助を活用するとともに、有利な過疎対策事業債を活用する予定で、単年度に与える影響は最小限に抑えることができると考えています。

問 工事中の通行規制は

答 市道岩屋線は、通学路やバス路線として利用されていることから、踏切を除く区間では、片側通行規制の予定です。しかし、全面通行規制を行わなければならない場合、歩行者・自転車の通行ができるよう配慮するとともに、交通誘導員を配置するなどの安全対策を検討します。JR が施工する踏切の工事は、鉄道事業者の判断により、全面通行規制の予定です。

この他、猫問題では、「無責任な、飼い主のいない猫への餌やりをやめることや地域猫活動などの周知を行っていくとともに、県が実施している大分県猫不妊・去勢手術助成事業を活用した市の補助制度の創設を検討していきたい。」との前向きな答弁がありました。

地域を活性化する 三世代交流の推進を！

まるき かずや
丸 木 一 哉



問 三世代交流の必要性・効果・支援・課題をどうとらえていますか

答 三世代交流の例として、小学校では祖父母世代から子どもたちが昔の遊びを教えてもらう、中学校では親世代が働く職場で、職場体験学習を行うなどが挙げられます。異なる世代での交流を行うことは、子どもたちのよりよい成長を促す上で、とても効果的です。

また、伝統文化や地域の伝統芸能の継承において、三世代交流は地域の歴史や価値観を未来につなげるために必要不可欠な取組です。市としては、「津久見市伝統芸能保持団体連絡協議会」を立ち上げ、最善の支援の方法を探りたいと考えています。

その他、地域防災力の向上が求められる昨今では、次世代の担い手の確保は必要不可欠であると考えています。また、各地域の中で、小中学生と高齢者が合同で避難訓練等を実施でき

る環境を作ることで、相互支援の体制が構築できるとともに世代間交流が図れると考えるため、地域や学校への呼びかけを実施していきたいと考えています。

問 学校トイレの洋式化はどう進んでいるか

答 令和5年9月1日時点での状況では、全国で68.3%、大分県全体では64.2%、市内小中学校全体では、55.2%となっています。

問 老朽化して悪臭が出る等のトイレの改修をどう進めようとしているのですか

答 今後は、津久見小学校の長寿命化改修事業の実施や青江小学校や堅徳小学校についても、学校環境の整備に関し、検討していきたいと考えています。



行政の業務改善を！

の だ かずひろ
野 田 和 廣



問 DX(デジタル・トランスフォーメーション)のこれまでの取り組みは

答 ペーパーレス化の実現として、コンピュータ上で事務決済処理を行う電子システムの活用や申請などに係る押印の廃止を行い、保存文書のデータ化を行っています。

さらに、マイナポータルなどを利用した電子申請、キャッシュレス決済の導入なども推進しています。

その他、職員間のコミュニケーションツールの導入やWeb会議、テレワーク、音声データから議事録の作成など効率的に業務が行える環境の整備に努めています。

問 新庁舎建設に向けた今後の取り組みは

答 複数の課が仕切りの無い執務室で業務を行うスタイルとなります。新庁舎では、専用のICカード認証による入退室管理システム

を導入することから、現在紙で行っている出退勤の確認や時間外勤務時間の管理、様々な庶務事務についても併せて電子化を進めようと検討しているところです。また、市民用も含め全館Wi-Fi環境の整備を行い、新しい業務スタイルを検討し、関係各課との協議を行いながら、今後も業務改善につながるデジタル技術の活用などを進めていきたいと考えています。

その他、人的な取り組みとして「会計年度任用職員の得意分野を活かした活用方法」などを質問しました。

最後に、住民サービスの向上、地域の活性化を行う上でも職員が心身共に健康で、やりがいを持てるような業務改善、働きやすい職場環境の取り組みの構築をお願いしました。

市長就任1年を問う！

くらはら ひでき
倉原 英樹



問 石川市長就任1年の実績について

1年間の取り組みの中で、市長の公約であった住民投票と市長が主張し続けた第二中学校を活用した庁舎移転案について

住民投票を実施することで、もう一つの公約だった第二中学校の移転案を反故にすることになりました。そして、現在、反対し続けた津久見港に庁舎建設を推し進めています。

市長が掲げた公約に矛盾が生じていることをどのように認識していますか

答 市民の声を確かめるための住民投票でした。対案として、第二中学校の移転案を提案させていただきました。二択で住民投票をするにあたり、第二中案は叶いませんでした。

懸念点として、不安の声はありますが、有事の際に、どのように対応ができるのか検討していきたいと思います。

問 公約に矛盾が生じていることについて、はじめをつけること、責任について考えたことはありませんか

答 一票でも多い案を採用するという説明をしてきたのでその通りに進めている状況です。

問 市民への説明は？

答 庁舎に関する説明をしたいということで11月に現地見学会をしました。庁舎建設のスケジュールに応じて見学会、説明会をしたいと考えています。地域懇談会も今後開催します。

問 レストラン市民会館の食事等の提供は？

答 前事業者との全ての手続が終了したので、今後は、施設を利用した飲食提供の可能性について、市内の飲食店組合、市内外の事業者及び団体や市民も含めお願いをし、食堂、厨房部分の活用方法や空きスペースの活用について慎重に検討していきます。

津久見の伝統芸能や 郷土芸能を守っていこう

いどがわ ゆきひろ
井戸川 幸弘



問 地域の少子化や担い手不足の問題もあり、これまで各地域でのお祭りなどで行われてきたお神楽や獅子舞などの郷土芸能が行われなくなった事例が市内各地で増えてきています。これまで培われてきた郷土芸能が無くなることは、地域の活力低下を象徴します。津久見市では、地域にある未指定を含めた多様な文化財をまちづくりに活用しながら、地域ぐるみで次世代に継承させていくための津久見市文化財保存活用地域計画の作成に取り組み始めましたが、この計画作成の進捗や、今後の津久見市内にある伝統芸能や郷土芸能をどう支援していくお考えですか

答 津久見市文化財保存活用地域計画は、市内に点在する歴史・文化的資源の総合的な調査を行い、文化財の継承や積極的な保存活用を図ることにより、自然と歴史、文化の調和する魅力ある津久見市の実現を目指す計画で

す。この計画は令和5年度から令和7年度の3年で作成します。今後は、市文化財保存活用地域計画作成協議会などを開催し、文化庁への認定申請の手続きを行います。

伝統文化の保存継承については、後継者の育成や衣装・用具等の整備など課題は多く、保存団体の皆さんも苦勞されています。

市としても、地区と伝統芸能団体の関係者に参加して頂き「津久見市伝統芸能保持団体連絡協議会」を立ち上げ、この協議会で国の委託事業や各種助成制度など、活用できるものについて情報を提供し、伝統文化の保存・継承を支援すると同時に、発表の場についても検討していきます。

※この他、大雪となった場合の市の対応などについて質問しました。

がんばれ、つくみのちから!!

たかの みきなり
高野 幹也



「市職員の退職と採用について」

問 近年の退職者数と採用者数の推移は

答 退職者数については、各年度の前年度末での人数をカウントするため、令和元年度は7人、令和2年度は6人、令和3年度は9人、令和4年度は14人、令和5年度は16人、今年度は現時点で19人の予定となっています。

採用者数については、令和2年度は7人、令和3年度は6人、令和4年度は7人、令和5年度は12人、令和6年度は16人となっています。

近年退職者が多い中で、採用については、特に土木技術職、保健師などの職種においては、応募者数も少なく人材確保が困難な状況が続いています。これは、大分県及び県内の多くの市町村でも同様の状況と聞いています。

「外国人技能実習制度について」

問 全国での技能実習生の数は、令和6年6月末時点で、42万人以上となっています。本市の技能実習生の人数の推移は

答 令和4年6月末は技能実習生22人、令和5年6月末は技能実習生25人、特定技能実習生3人、令和6年6月末は技能実習生26人、特定技能実習生2人となっており、主に食品製造や介護の現場で活躍されており、今後、建設業なども受け入れる予定であり、徐々にではありますが増加傾向にあります。

その他、「学校教育について」、「土曜寺子屋・つくみ塾及び放課後学習クラブ、春と夏の学習クラブについて」質問しました。

風力発電事業者と協定を結べ！

ちねん とよひで
知念 豊 秀



問 四浦半島で計画されている風力発電は、2017年台風18号の大災害を経験している近隣住民にとって、環境破壊や土砂崩れなど災害発生リスクを排除できません。風力発電が地元住民に恩恵のない迷惑施設にならないか、市の見解を求めます

答 管理用道路や敷地造成を行う時に、倒木や転石の処理、樹木の伐採、排水・濁水対策、さらに災害時の代替道路として利用できるなど防災面でも利点があります。

問 市の土地を利用するなら、市の発展に寄与してもらうことは当然と考えます。事業者との協定を結んだり、利益の一部を津久見市に還元できる制度、例えば鉱産税のような制度を作ることを提案します。いかがでしょうか

答 現段階では、協定を結ぶこと等は考えていません。

危険な老朽空家対策を進めよ！

問 入船には、屋敷が草ぼうぼう、壁は傾いている、虫も湧いている、など住環境に悪影響を与えている空き家が放置されたままになっています。2015年に空家等対策特別措置法が改正されても改善が見えませんか。行政指導はどうなっていますか

答 空き家は個人の財産であり、管理責任はあくまでも所有者にあります。

学校給食無償化の取組みについて

問 小中学校の保護者から大きな期待が寄せられている給食無償化の実現に対する障害は何ですか

答 現在、物価上昇分として約800万円給食費を補助しています。給食費無償化には恒久的で安定した財源が必要であり、限られた財源の中で無償化に踏み切るのは容易ではありません。

視察報告

総務常任委員会

(令和6年10月28日～30日)

さいじょう

西条市役所（愛媛県）

視察内容：「移住・定住サポート」について

視察目的：「住みたい田舎ベストランキング」全4部門で全国1位を獲得、そのうち若者世代部門では3連覇を達成。人口減少と少子高齢化の中で、産業の担い手不足が起きていることに着目し、働き手世代・子育て世帯に移住してもらうことを目指している。

中でも、移住施策と情報発信を掛け合わせた取り組みや子育て環境の整備、力を入れている移住者と人・地域を繋ぐ取り組みについて学ぶこととした。



西条市役所

お試し移住の取り組みや、1泊2日無料個別移住体験ツアー、移住コンシェルジュによる移住希望者へのサポート等の施策を行うことで、移住希望者と地域・人を繋ぐネットワーク形成ができ、それが移住前の不安解消にも繋がり、効果を発揮している印象を受けました。



西予市役所

せいよ

西予市役所（愛媛県）

視察内容：「DX推進事業」について

視察目的：平成26年度から生産性向上のためにオフィス改革をおこなっている。大学や企業と協力協定を締結、若手職員を中心に構成するプロジェクトチームを立ち上げ、「産・学・官」連携で取り組んできた内容について学ぶこととした。

改革の中で誕生した本庁舎4階のモデルオフィスは、チームアドレス（個人の固定席がなく、各課の拠点となる場所のどこにでも座ることが出来る）や多様な打ち合わせスペースなどを導入。また、4階以外のフロアにも業務内容に応じて多様なスペースを導入し、無線LAN、ノートパソコン、クラウドPBX（電話交換機をクラウド化し、パソコンやスマートフォンで内線・外線電話が使用出来る仕組み）等の活用により、より柔軟な働き方が可能となっています。

これらの改革を行ったことで、「職員同士の会話が増え、価値ある情報を得る機会が増えた」「職位や部署を超えたコミュニケーションがとりやすくなった」といった効果が出ていることでした。

さらに、庁内申請業務のオンライン化、会議資料のデータ化といったペーパーレス化も推進し、書類量の削減はもちろん、会議においては、資料を事前配布しやすくなったことで所要時間の短縮にも繋がっていることでした。

道の駅「八幡浜みなと」（愛媛県八幡浜市）

視察内容：「八幡浜みなと」の整備プロジェクトについて

視察目的：フェリーの乗船客や、市外からの観光客が立ち寄ることのできる拠点を作り、交流人口を拡大し、港に隣接する水産市場と連動した水産業振興を図るべく建設された「八幡浜みなと」の整備概要などについて学ぶこととした。



八幡浜みなと

本施設は、「経済効果を広く生み出すこと」「市民のふるさと八幡浜に対する誇りや愛着心を育むこと」を目的として整備されました。施設内には、「産直・物販・飲食」、「観光案内・まちづくり活動拠点」が整備されており、多くの市内外の人たちが気軽に集える場所になっています。新鮮な魚や産直品が人気であることや、フェリー利用客が多く立ち寄ることなどから、平日も安定した集客を維持しているとのことでした。

視察報告

社会文教建設常任委員会（令和6年10月30日～11月1日）

資源エネルギー庁（東京都経済産業省）

視察内容：「日本国内でのメタネーションの状況と今後の国の方針等」について

視察目的：2050年に日本の二酸化炭素排出量をゼロにするという、国が進めるいわゆる「カーボンニュートラル構想」に基づき、次世代エネルギーとして注目されているのが「メタン」である。このメタンを作る工程では、大量の水素が必要とされており、津久見市にとっても、この構想と大きな関連があるものととらえている。そこで、国が進める次世代エネルギーとしてのメタネーションの状況を、国の担当省庁である「資源エネルギー庁」で直接説明を受け、津久見市との関連性を探ることとした。

- 二酸化炭素と水を直接反応させることで、より低コストでメタンを合成する『革新的メタネーション技術』の開発に取り組み始めたことができました。
- 現段階では脱炭素の過程に必要とされる水素ガスの基地化について、津久見市で新エネルギーとして企業誘致するための可能性を聞いてみました。
- 「水素」の供給と需要のバランスがどうなっているか、「協議会」の動向に注視していく必要性を感じました。
- 水素の活用にあたっては、「水素社会推進法」「水素基本計画」「拠点整備事業」などを深く学ぶことが大切であると考えます。



資源エネルギー庁

カラフル野菜の^{こやま}小山農園（東京都^{たちかわ}立川市）

視察内容：「農園の運営等（生産から販売まで）」について

視察目的：珍しいカラフル野菜やヨーロッパ野菜を中心に、少量多品目の野菜を生産している。直売所や地元スーパーなどでの販売、レストラン・飲食店を中心に納品している。狭い土地でも収益が上がる農業経営について視察することにより、津久見市でも展開できる施策を探っていくこととした。



小山農園

- 野菜づくりのノウハウも大切な視察の観点であったが、それ以上にマーケットの開拓という面が大きなウエイトを占めていることが重要であると感じました。
- 土づくりにこだわっており、化学肥料は使わず、コーヒー堆肥やビール醸造に使うホップの搾りかすなど近隣の資源やネットワークを十分に活用していることを学びました。
- 津久見市でも参考になるのは、農業の基本は土づくりから始まり、作付けから収穫までの見通しと消費者との結びつきが成功のカギとなるということではないかと思います。

議会報告会を開催しました

11月12日～14日、2班に分かれて計4会場で議会報告会を開催しました。各区長さん他、開催にご協力くださった皆様ありがとうございました。また、当日会場に足を運んでくださった78名の皆様ありがとうございました。

当日会場でいただいたご意見等については、今後の議会及び議員個々の活動に活かしていきたいと思います。

●開催日時・場所及び来場者数

11月12日(火)	千怒区広浦集会所	15名
11月12日(火)	青江区川内会館	25名
11月13日(水)	保戸島集会所	24名
11月14日(木)	市民会館	14名



千怒区広浦集会所

●会場での主なご意見等

【道路環境】

- 道路わきの側溝のふたやアスファルトの切れ目から草が伸びている。適切な管理を。

【公共交通】

- 路線バスの運行補助金の1,200万円の内容は。
- 路線バスは費用がかかっても維持してもらいたい。

【教 育】

- 不登校児童、生徒への取り組みを考えてほしい。
- 給食費無償化の取り組みはどうなっているのか。
- 旧第二中学校の校舎活用はどうなっているのか。

【定住促進】

- 人口減少に歯止めがかかっていない。
- 空き家の活用を進めてもらいたい。

【高 齢 化】

- 認知症の人が増えているが今後の対応は。
- 保戸島は後期高齢者が多く、通院時の船賃の助成は検討できないか。

【災害対策】

- 現状復旧で今後の災害に耐えられるのか。

【議会関連】

- 本会議や委員会での審議の内容が見えない。
- 委員会の中継をやってほしい。



青江区川内会館



保戸島集会所



市民会館

3月定例会のご案内(予定)

3月 3日(月) 開会

11日(火) 一般質問

12日(水) 一般質問

13日(木) 常任委員会

3月14日(金) 常任委員会

17日(月) 常任委員会

18日(火) 常任委員会(予備日)

21日(金) 採決・閉会

議員研修会

研修会を開催しました

津久見港の概要と港湾における脱炭素化についての
研修会を開催しました

令和6年10月18日に、大分県土木建築部港湾課長の清永隆志氏をお招きし、カーボンニュートラルの勉強会を行いました。津久見港の港湾の埋め立ての概要、また、利用方法など説明を受けました。津久見港は、津久見市西部で採掘される石灰石、市内で生産されるセメント製品の積み出しによって工業港として発展してきました。また、石灰石・セメントの取り扱い量は、津久見港全体の貨物量の80%以上を占めています。これからの津久見の発展の礎になる港湾計画に期待したいと思います。

津久見市観光協会 会長 河村和彦氏と
意見交換会を行いました

令和6年12月20日、津久見市観光協会 会長の河村和彦氏をお招きして、津久見市の今後の観光などについて意見を伺い、その後、市議会との意見交換会を行いました。現在行われているイベントについての説明を受け、「これからは、地域の個性を生かした活動をどうすべきか、また、地域の方達をいかにプレーヤーとして巻き込んで、どう取り組むか…」などについて意見を交換しました。2024年より会長として就任されました河村氏、今までに無い取り組みとして、会員同士によるワーキンググループを発足。協会の今後の取り組みについて、意見を出しあう部会や情報発信の部会を開催するとのことでした。

新しい取り組みをしていって、津久見の魅力を発信してほしいと思います。

歳末
たすけあい

第41回 チャリティーショー に出演しました♪



11月30日に津久見市民会館で開催された、第41回 歳末たすけあいチャリティーショーに出演しました。今年は、舞踊「君の王子様」を披露しました。素敵な王子様と、そうでない王子様、可愛い乙女と、そうでない乙女が、舞台の上で手を取り合い、仲良く踊りました。「とってもおもしろかったで～、久しぶりにあんなに笑ったわ～」と市民の皆様の声をかけて頂き、そして、とっても喜んで頂きました。

1ヵ月にわたる練習期間で、覚えるのに苦労した議員もいましたが、来年も、市民の皆様喜んで頂けるよう、頑張って練習したいと思います。

つくみの宝

貴重な体験～「緊張した!」でも「大変!」 小学校6年生による「議会体験学習会」



堅徳小学校6年生のみなさん



青江小学校・保戸島小学校6年生のみなさん



津久見小学校6年生のみなさん



千怒小学校6年生のみなさん



11月18日・19日に、市内小学校6年生による「議会体験学習会」が行われました。議員12人による「お手本」の後、「議長役」「議員役」「市長役」などの役割を決め、実際に議会さながらの雰囲気で行いました。「言葉もはきはき言えました。〇〇議員さんによかったよと言われてうれしかった」や「私たちのために頑張っていることを改めて知りました」などの感想が寄せられました。また、「夜暗いので、街灯を増やしてほしい」「子どもたちの声が届くような意見箱を作してほしい」などの要望も児童から寄せられました。